

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

| | | | |
|------|----|-----|----------|
| 学校番号 | 40 | 学校名 | 東濃実業高等学校 |
|------|----|-----|----------|

| | | |
|---------------------|---|---|
| 学校教育目標 (教育方針) | ◎地域の未来を創出する人材の育成 1. 他者とのかかわりを通して自己を見つめ、豊かな人間性を備えた生徒を育てる。 2. 確かな教養に裏付けられた専門的知識・技術を有し、地域の未来を見据えて主体的に学び続ける生徒を育てる。 | |
| 3つの方針 (スクールポリシー) | どんな生徒を育てたいか 【GP】 | <ul style="list-style-type: none"> 将来のリーダーに必要な、公共の精神と対話力・コミュニケーション力を身に付け、仲間と協力して課題解決することができる生徒（うごかす力） 基礎学力を着実に身に付け、自分自身の将来を見据えながら自ら学び続ける意欲を身に付けた生徒（つなぐ力） グローバルな視点で地域社会の将来を展望し、商業、生活産業の各分野で、スペシャリストとして活躍する力を身に付けた生徒（つくりだす力） |
| | 生徒をどう育てるか 【CP】 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの個性や適性に応じた学びを実現するためのカリキュラム編成ときめ細やかな指導の実施 ICTを活用し、自ら学び続ける意欲を持たせるための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進 SDGsを意識し、変化する産業構造を見据えながら、地域の大学や産業界との連携、協働による実践的な専門教育を推進 |
| | どんな生徒を待っているか 【AP】 | <ul style="list-style-type: none"> 部活動や生徒会活動を含めた学校でのあらゆる活動を通して、自己を見つめ、仲間と協働し、人間性を高めようとする生徒 向上心を持ち、自ら学び続けようとする主体性のある生徒 商業・生活産業に関わる学習内容に興味があり、地域社会で活躍する「夢」に向かって努力する意欲のある生徒 |
| 学校の抱える課題 | <ul style="list-style-type: none"> 人間関係が希薄であり、コミュニケーションの苦手な生徒の増加 相手の気持ちが理解できない生徒 学習習慣が定着しておらず、高等学校での学びに対応できない生徒 頑張ろうとしても、できない生徒 困難を避ける傾向 明確な目標を描くことができない生徒 すぐにあきらめる 類型の廃止にともない、専門性から幅広い学習への転換 学習成果を高めるためのカリキュラムの研究 学校教育と働き方改革の両立 | |
| 教育指導の重点 | 領域・分野 | 今年度の具体的な重点目標 |
| | 生徒指導 | うごかす力（心豊かな人間性）の育成 人権教育の推進を図り、他者との協同・協調活動を通じて、自他を大切に。あらゆる活動を通じて、対話力・コミュニケーション力を高め、リーダーシップを醸成する。 |
| | 進路指導 | つなぐ力（自ら学ぶ力）の育成 基礎学力の定着を図り、将来を展望し、主体的・対話的で深い学びを通して、自ら学び続ける意欲を身に付けた生徒を育成する。 |
| | 学習指導 | つくりだす力（専門的知識・技術）の育成 商業、生活産業のスペシャリストとして活躍する力を身に付けさせ、グローバルな視点で地域社会の将来を展望し、力を尽くすことができる生徒を育成する。 |
| 学校経営 | 風通しのよい学校 生徒の学習環境の整備を進めるとともに、教職員の働き方改革を推進する。 | |

| 年度目標 | | | |
|------|--|---------------------|--|
| 領域分野 | 3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策 | 県教育振興基本計画で の位置付け | 達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標 |
| 生徒指導 | 校則の見直しを通して人権尊重の気風がみなぎる学校づくりを推進する。 | 7 | 施策Ⅰ-7 ・生徒・保護者・地域に受け入れられる校則 |
| | 人権尊重の価値観や態度を育て、行動へと向かわせるための教育を推進する。 | 3 | 施策Ⅰ-3 ・心のケアや差別・偏見を意識し、教育相談的な対応 |
| | 生徒会やMSリーダーズの活動、各教科の学習や部活動を通じて、言語能力の確実な育成を図り、地域や社会の発展を担う人材育成に取り組む。 | 4 | 施策Ⅰ-4 ・生徒の意識に関するアンケート結果の肯定90%以上、及び生徒の変化 |
| | 生徒一人ひとりに寄り添い、安心・安全な学級、温かい空気に満たされた学級をつくることで、生徒の心の成長や発達を促す。 | 19 | 施策Ⅲ-19 ・年2回の教育相談週間の実施。SC、S相との連携強化。 |
| 進路指導 | ガイダンス機能を充実させ、あらゆる場面でのキャリア教育を推進し、各学科での学びを生かした進路選択ができるように計画的・組織的な指導をする。 | 8 | 施策Ⅱ-8 ・生徒の進路希望100%実現。 |
| | 全職員による小論文指導、面接指導また2年次インターンシップ、卒業生と語る会等の実施を通して、主体的で前向きに進路選択ができるようにする。 | 23 | 施策Ⅳ-23 ・進路ガイダンス、進路講話、進路に関するLHRの実施回数年間10回以上 |
| | 地域や企業との連携を実践学習や課題解決学習の場として活用し、実践力・コミュニケーション力・創造力を高め、生涯にわたり探求を深める未来の創り手を輩出する。 | 13 | 施策Ⅱ-13 ・振り返りシートを活用し、生徒の意識を確認する。 |
| | 情報収集に分析に努め、生徒が資格取得や、キャリア教育で得た力を進路実現に反映できるようサポートする。 | 1 | 施策Ⅰ-1 |
| 学習指導 | 基礎基本を重視し、学習目標の明確化と生徒一人ひとりに応じた個別最適化を目指した学習指導に努める。 | 8 | 施策Ⅱ-8 ・定期考査における成績不振生徒（素点）5%以内 |
| | 創意ある教育課程の編成と特色ある学校づくりの推進。 | 20 | 施策Ⅳ-20 ・学習成果発表会における外部評価 |
| | 急速に変化する世界の動向を見据えながら、日本の伝統的な産業文化の継承・創造に関する教育内容を充実させ、地域と連携し活動を進める。 | 14 | 施策Ⅱ-14 ・授業評価アンケート（生徒評価）で「授業に満足している」90%以上 |
| | ICT機器を活用し、生徒が主体的・対話的で深い学びができる環境の実現。 | 9 | 施策Ⅱ-9 ・家庭学習毎日1時間以上40% |
| 学校経営 | 職員が丸となり、風通しのよい職場とする。ハラスメントとメンタル不調等への迅速な対応を心掛ける。 | 28 | 施策Ⅳ-28 ・「働きやすい職場づくり」アンケートの活用。ハラスメント0 |
| | 複数分担制・チーム化により、円滑な業務遂行を図るとともに、学校行事等の業務の継続的な見直しを実施する。 | 20 | 施策Ⅳ-20 ・教職員の働き方改革ができたという実感の確認（時間外労働、月45時間/年360時間以内） |
| | 教材を共有化することで教材研究等にかかる時間を削減し、教職員の働き方改革を推進する。 | 27 | 施策Ⅳ-27 |
| | 新JIS規格の机・椅子、照明のLED化などをはじめとする必要な施設・設備の計画的な整備を促す。 | 23 | 施策Ⅳ-23 ・PTA、学校運営協議会委員の意見や要望 |

| 年度末評価（自己評価） | | | |
|-------------------------|------------------|-------|--------------------|
| 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等 | 評価 A. B. C. D | 成果と課題 | 総合評価 A. B. C. D |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日